

委 託 設 計 書

所 属 部 課 名	河川清流課								
部長	審議監	課長	補佐	補佐	補佐	主査	班	設計者	審査
委 託 名 称	地域排水ポンプ点検業務委託								
委 託 場 所	松戸市市内一円								
事 業 年 度	令和 8 年度								
委 託 価 格	円								
委 託 費 計	円								

設 計 概 要	地域排水ポンプ点検業務委託 年次点検 33施設(排水ポンプ72台、除塵機1台)
------------------	---

設 計 基 本 情 報

諸経費情報

単価世代	2026年 1月 1日 04:東葛飾
諸経費の工種	機械設備点検・整備業務
施工地域補正	なし
時間的制約状況	なし
週休2日補正	なし

松 戸 市

本 委 託 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本委託費								
		点検工		式	1			第 1 号内訳書参照
	直接委託費計							
		共通仮設費		式	1			
		共通仮設費計						
	純委託費							
		現場管理費		式	1			
	委託原価							
		一般管理費		式	1			
	委託価格							
		消費税及び地方消費税 相当額		式	1			

本 委 託 内 訳 書

2 頁

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本委託計								

第 1 号内訳書 点検工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
直接労務費		式	1			第 1 号単価表参照
補助材料費		式	1			
直接経費		式	1			
交通誘導警備員 B		人				
計						

第 1 号 単価表

直接労務費

1 式 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ポンプ等設備点検		Hr				第 2 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 2 号 単価表

ポンプ等設備点検

1 Hr 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
機械設備据付工		人				点検整備工
計	1 Hr 当り					

共 通 仕 様 書

総 則

- 1 本共通仕様書(以下、共通仕様書)は、松戸市(以下、当市)が発注する地域排水ポンプ点検業務委託に適用する。
- 2 共通仕様書は、国土交通省 総合政策局が公表している「機械設備点検・整備共通仕様書(案)(最新版)」による。
- 3 契約図書は相互に補完し合うものとする。但し、契約図書間に相違がある場合の優先順位は、当市と受注者との協議上、決定するものとする。
 - (1) 契約書
 - (2) 特記仕様書
 - (3) 共通仕様書

地域排水ポンプ点検業務委託 特記仕様書

1 総則

本仕様書は、地域排水ポンプ点検業務委託に適用し、排水ポンプの機械・電気計装設備等の定期点検を行うことにより、各施設が安全に機能する運転環境を維持することを目的とする。

2 点検

本業務は、地域排水ポンプ 33 施設の排水ポンプ及び配管含む付属設備の点検を行うものとする。なお、施設毎のポンプ仕様等は「別紙」のとおりとする。

本施設は、雨水排水を目的とする排水ポンプである為、現状を把握し、排水ポンプの運転に支障を来たさないよう、配慮及び協力すること。また、現場点検期間はできるだけ短くし、排水運転が可能な状態にすること。なお、降雨・台風等の天災に対しては、天気予報等に十分注意を払い、常に災害を最小限に食い止める為の防災対策を確立しておくこと。

2. 1 点検対象

(1) 主要機器・槽類・配管

- | | |
|------------|--|
| (a) ポンプ設備等 | 排水ポンプ(本体、ケーブル、ベンド、ガイドパイプ、ガイドフック、ポンプ吊上げ用チェーン等)、水位測定装置(フロートスイッチ、投げ込み式水位計等)、ポンプ槽、沈砂池、スクリーン、排水路等 |
| (b) 除塵機設備 | 除塵機 |
| (c) 操作制御設備 | 操作盤等 |
| (d) 電源設備 | 受電盤、配電盤、発電装置、燃料槽等 |
| (e) 配管設備 | 主配管及び小配管、弁類、(逆止弁、仕切弁等) 管継手類 (エルボ、チーズ、フランジ等) 等 |
| (2) 補助機器設備 | クレーン装置(チェーンブロック)、換気扇、換気装置、照明設備等 |

2. 2 作業内容

点検は、機械設備の装置・機器の回転数、寸法、温度、異音等を体感にて点検するとともに負荷運転により異常、損傷の有無、基準値との比較、分析を行い報告する。報告書には作業報告をまとめた所見を記載し、今後の維持管理に資するための考察までを行うものとする。

2. 3点検

準備・点検・試運転・後片付けまでを行う。点検は様々な角度から行い、その機器の特性を熟知して不具合箇所の発見に努めること。

(1) 機器類清掃

清掃は施設および機器類を清掃範囲とし、各部に付着した塵埃等を除去すること。また稼働部に関して、円滑に動作するか確認し、必要に応じ清掃等を行うこと。

(2) 給油・塗装等

潤滑油の補充、塗装のタッチアップ等の軽微な作業をおこなう。使用する材料は現場に適したものを使用すること。

(3) 計測

計測は、校正計測機器を使用し計測すること。

(4) 記録

記録は計測結果・不具合・希望事項等について行い、調整等で変化が生じるときはその作業前後のデータを記載すること。

(5) 動作試験

動作試験は基本的に、手動・自動それぞれの運転環境にて試験をおこなうこと。

(6) 不具合箇所

不具合箇所を発見した時は直ちに発注者に連絡すること。

3 業務

(1) 業務は、日曜日、祝祭日及び振替休日を休日とし、業務を行わないものとする。

(2) 但し、前述(1)に指定した休止日であっても、当市が必要と認める場合は、業務を実施出来るものとする。

4 提出書類

(1) 受託者は契約締結後、速やかに次の書類を提出し、承諾を受けた上、業務に着手する。

a 業務計画書

(2) 受託者は業務が完了した時は、速やかに次の書類を紙媒体及び電子媒体(PDF)で提出する。

a 点検報告書 (紙媒体 2 部、電子媒体 1 部)

b 点検結果一覧表 (紙媒体 2 部、電子媒体 1 部)

c 写真帳 (紙媒体 1 部、電子媒体 1 部)

d 見積書 (不具合箇所がある場合) (紙媒体 1 部)

e 中長期雨水排水設備更新計画 (紙媒体 1 部、電子媒体 1 部)

5 報告

記入様式等は受託者で定めて構わないが、委託者に事前の承諾を受けたものとする。なお、「異常なし」「注意」「緊急」で判定すること。

(1) 点検結果報告書に記載する測定値には必ず判定基準値を記載し、合否基準を明確にするものとする。なお、判定基準値は受注者が定めるものとし、発注者に説明を求められた際には書面にて説明するものとする。

(2) 点検結果をふまえ今後、中長期の雨水排水設備更新計画を受注者が報告書とは別に取りまとめ、提案を行わなければならない。

(3) 受託者は、点検の結果、不具合箇所があった場合は、当該箇所の状態、原因、処置方法もしくは改善方法を取りまとめ、写真等現場状況を確認出来る資料を添付のうえ、報告書を作成しなければならない。また、不具合箇所の修繕に要する見積書を提出すること。

6 その他

(1) 本仕様書に記載されていない細部の事項についても受注者は誠意をもって作業を行うこと。

(2) 点検期間中に事故及び損害が発生した場合は請負人の負担とする。

(3) 点検の日程は委託者と受託者で十分協議して決めること。

(4) 点検と同時に行う小規模な修理や整備及び機能保持の為の定期整備を含む。

雨天時における安全に関する特記仕様書

1 適用

- (1) 本特記仕様書は河川及び準用河川、水路、暗渠、雨水貯留池、ポンプピットの中（以下「河川等」という）で作業を行う工事等に適用する。
- (2) 「工事等」とは、工事以外の点検、清掃、除草等を含め、河川等で行う作業全般を総称したものである。

2 目的

集中豪雨等による急激な水位上昇の危険性を考慮し、河川等における工事等を実施する場合の安全確保について万全を期することを目的とする。

3 雨天時の作業中止等の検討

請負人（受託者）は、以下の標準的な中止基準を踏まえ、現場特性に応じた中止基準を設定すること。

- (1) 当該作業箇所または上流部に洪水または大雨の注意報若しくは警報が発表された場合。
- (2) 当該作業箇所または上流部に降雨や雷が発生している場合。

4 気象情報等の取得体制の強化と作業中止判断への活用

気象警報、注意報のみならず、降雨状況等のリアルタイムの情報について、現場においても速やかに取得できる体制を構築するとともに、当該情報を作業中止の判断に活用すること。
情報源については適宜確保すること。

5 作業員の退避行動等についての事前確認の徹底

集中豪雨が発生した際の作業員への情報連絡体制、退避行動等について、事前に十分確認すること。

6 安全管理計画の施工計画書等への明記

作成する施工計画書等において、以下の内容を安全管理計画として明記し、発注者（委託者）の確認を得るとともに、その内容について作業員への周知徹底を図ること。

ただし、発注者（委託者）が必要ないと認めたときは省略又は一部省略することができる。

(1) 現場特性等の事前把握

工事等の着手前には、当該作業箇所に係る作業内容や現場特性をあらかじめ十分に把握する。

(2) 工事等の中止基準・再開基準の設定

ア 標準的な中止基準を踏まえ、現場特性に応じた中止基準を設定する。

退避時間が長い、退避条件が厳しい、急激な増水が予想される、気象情報が入手しにくい、夜間工事等で天候の状態がわかりにくい等の特性がある場合は中止基準を強化する検討を行う。

イ 工事等の開始後は、中止基準を補完する情報も活用し、的確な中止基準を設定する。

気象情報、気象情報の変化、増水の予兆（水位・水勢の変化、濁水等）。

ウ 工事等を再開する際の基準も設定する。

(3) 迅速に退避するための対応

工事等に着手する前には、作業員が安全かつ迅速に退避できるように、あらかじめ退避時の対応方策について、以下の点について具体的な内容を定めておく。

ア 退避手順の設定

事前に作業員が退避するルート、退避時の情報伝達方法等の退避手順を定めておく。

イ 安全器具の設置

現場特性に応じて安全器具等を設置する。

ウ 情報収集と伝達方法

適宜、気象等の情報収集を行い、状況を作業員全員に伝達し、危険性の早期発見・危機回避に努める。

エ 資器材の取り扱い

資器材については、必要に応じて流出防止策を講じておくとともに、作業員が退避する場合には、退避に支障がある資器材を存置し、作業員の退避を最優先する。

(4) 日々の安全管理の徹底

工事等の開始前には、退避時の対応方策の内容等について作業関係者全員に周知徹底を図る。

ポンプ No.	名 称	型式	台数	口径	吐出量	電圧V/ 出力kW	備考
				(mm)	m3/min		
3	栄町8丁目	荏原製 125DVB	2	150	3	200/11	
27	西馬橋3丁目	荏原製 不明	2	100	1.3	200/5.5	
28	ユーカー交通公園雨水貯留池	荏原製 300DL522	1	300	12	200/22	
		荏原製 200PL515	1	200	5.6	200/15	
		ツルミ製 37-USL	1	100	0.7	200/3.7	
29	ユーカー交通公園雨水貯留グラウンド	ツルミ製 50NA2.4S	1	50	0.2	100/0.4	
30	馬橋添堀	アイム電機製 MSA-4030-8E	1	400	22	200/22	
		アイム電機製 MSA-4030-8E	1	400	22	200/22	
46	栄町西1丁目	ツルミ製 80B43.7-51	2	100	1.5	200/3.7	
		ツルミ製 250B611-51	1	250	7	200/11	
80	高柳新田雨水貯留池	荏原製 80DL52.2	2	80	0.8	200/2.2	
82	小金きよしヶ丘雨水貯留池	荏原製 150DSC	2	150	3.42	200/7.5	
85	第六中学校雨水貯留池	ツルミ製 150-7.5-4BH2	2	150	3	200/7.5	除塵機1台
87	神田川上流雨水貯留池	荏原製 250DL-515	2	250	6	200/15	
89	栗山雨水貯留池	荏原製 150DL57.5	2	150	2	200/7.5	
96	ハヶ崎4丁目雨水貯留池	新明和製 CN80	2	100	1	200/3.7	
103	殿平賀原の山雨水貯留池	荏原製 50DL5.75	2	50	0.2	200/0.75	
113	上本郷小学校雨水貯留池	新明和製 CN150	2	150	3	200/7.5	
117	梨香台雨水貯留池	荏原製 200DL511	4	200	3.56	200/11	
126	五香六実一文字第一雨水貯留池	荏原製 250DSC	1	250	6.9	200/15	
		荏原製 250DL	1	250	6.5	200/15	
127	栄町西2丁目	不明	2	150	3	200/3.7	
129	松戸新田第二市営住宅雨水貯留池	テラルキョウトウ製 100BO-53.7	2	100	0.8	200/3.7	
134	五香六実一文字第二雨水貯留池	新明和製 CN150	2	150	4.5	200/15	
		新明和製 CV80	1	100	1	200/2.2	
135	栄町西1丁目第2	ツルミ製 150DL55.5	2	150	3	200/5.5	
136	栄町西3丁目第2	アイム電機製 SUA-2010-6EG	2	200	4.5	200/7.5	
137	六実3丁目	荏原製 80DVSA5.75	1	80		200/0.75	
138	栄町西1丁目第3	ツルミ製 150-3.7-6B2	2	150	3.5	200/3.7	
		新明和製 SAH300Y-PD	1	300	11.94	200/7.5	
144	栄町西3丁目第3	アイム電機製 MSA-4020-6DTB1	2	400	21	200/15	
		荏原製 100DL-53.7	1	100	1.5	200/3.7	
146	栄町西1丁目第4	ツルミ製 150-3.7-6B2	2	150	3.5	200/3.7	
148	古ヶ崎雨水貯留池	荏原製 50DVS5.4A	2	50	0.25	200/0.4	
152	関台雨水貯留池	ツルミ製 37-BE3	2	100	1.2	200/3.7	
153	中和倉寒風雨水貯留池	ツルミ製	2	50	0.2	200/0.75	
154	高塚新田北谷台第1雨水貯留池	新明和製 CVC501	3	50	0.18	200/0.4	
155	高塚新田北谷台第2雨水貯留池	新明和製 CVC501	2	50	0.18	200/0.4	
156	ハヶ崎8丁目雨水貯留池	ツルミ製	2	100	1	200/3.7	
157	高塚新田北谷台第3雨水貯留池	新明和製 CV501T	2	50	0.2	200/0.4	
161	松戸新田陣ヶ前雨水貯留池	荏原製 50DNJ5.4	2	50	0.2	200/0.4	











No.80 高柳新田雨水貯留池





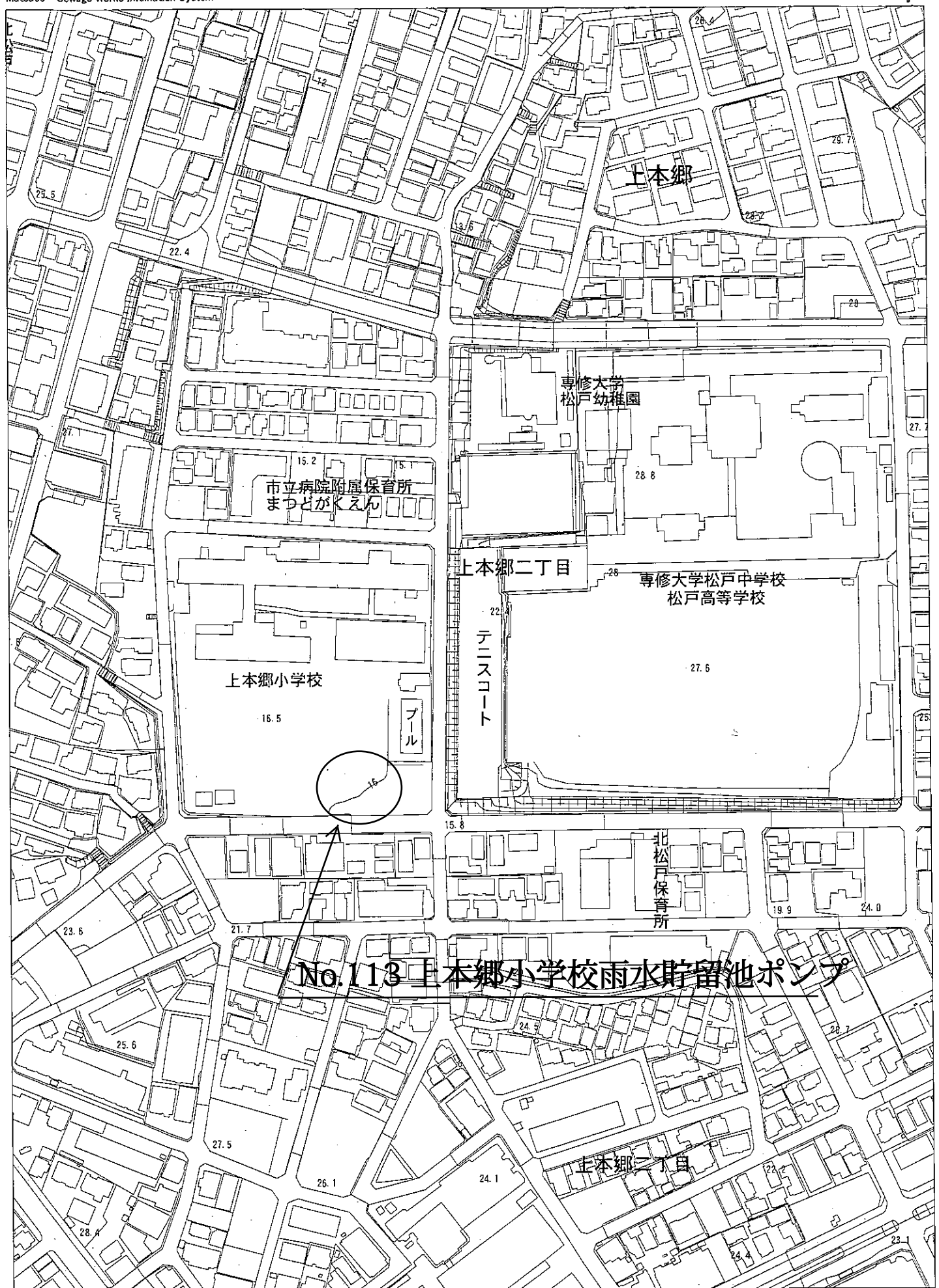


No.87 神田川上流雨水貯留池ポンプ

















No.134 五香六実一文字第二雨水貯留池ポンプ

貯留池

小池橋
児童遊園

















